

第5学年 体育科学習指導案

単元名 器械運動 「とび箱運動」

1. 目標

(1) 関心・意欲・態度

- ・自分に適しためあてを持ち、場や練習の仕方を工夫しながら意欲的に学習することができる。

(2) 伝え合う力

- ・お互いの動きを見合い、友だちの体の使い方の良いところを見つけたり、お互いに助言し合ったりしながら話し合うことができる。

(3) 教科のねらい

- ・自己の能力に適した技に取り組み、安定した動作で支持・跳び越しができる。(技能)
- ・技の特性を理解し、自分の身のこなしに足りないものを見つけ、技を習得できるよう練習に取り組むことができる。(思考・判断)
- ・互いに励まし合って運動したり、器械・器具の使用の仕方を工夫して、安全に運動したりすることができる。(思考・判断)

2. 指導計画(全7時間 本時5 / 7時間)

第一次 今までに学習した技を確認しよう。

第1時 開脚とびの動きの大切なポイントを確認して、技能を上達させよう。

第2時 かかえこみとびの動きの大切なポイントを確認して、技能を上達させよう。

第二次 台上前転に挑戦してみよう。

第1時 台上前転の動きの特性を理解して、挑戦してみよう。

第2時 お互いの動きを見合い、課題を見つけて練習しよう。

第3時 お互いの動きを見合い、課題を解決できるように工夫して練習しよう。(本時)

第4時 より高い段数に挑戦して、技能を向上させよう。

第三次 お互いの得意な技を発表し合おう。

第1時 今までよりも上手にできるようになった技を互いに発表しよう。

3. ICT 機器活用の意図

- ・デジタルカメラの動画撮影機能を用いることで、自分の動きを客観的に確かめることができる。
- ・動画を動画ポートフォリオとしてまとめ、授業の足跡として残すことができる。
- ・デジタルコンテンツを活用することで、技のポイントを視覚的に分かりやすく理解することができる。
- ・デジタルビデオカメラで撮影した映像を、DVD再生機の遅延再生機能を活用し、その場で自分の動きを確認することで自分の課題に気づけたり、技能の向上を感じられたりする。

4. 本時の学習

(1) ねらい

- ・自分の技能を向上させるポイントに気付き、技能が上達するよう工夫して練習に取り組むことができる。(思考・判断、技能)
- ・お互いの動きを見合い、友だちの体の使い方の良いところを見つけたり、助言し合ったりしながら話し合うことができる。(伝え合う力)

(2) 展開

段 階	学 習 活 動	教師の支援と評価基準	準 備 物 等
つ か む	1 補助運動 (手足走り、かえるの足打ち、馬跳び、前回りなど) 2 デジタルコンテンツ(台上前転の模範演技)を見て、台上前転のポイントを確認する。 3 前時の終わりに見つけためあてを班の中で確認する。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; text-align: center;"> お互いの動きを見合い、教え合いながら工夫して練習し、技能を向上させよう </div>	<ul style="list-style-type: none"> ・台上前転をする上で、必要な筋肉をほぐし、台上前転の中に組み込まれている体の動きを意識させ、補助運動をさせる。 ・デジタルコンテンツを見ながら、技のポイントや注意点を児童に確認するよう促す。 ・自分の技能が向上するポイントに気付いているか確認する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・パソコン ・LANケーブル ・プロジェクター ・スクリーン ・デジタルカメラ <ul style="list-style-type: none"> ・ワークシート
ふ か め る	4 班ごとに協力して練習に取り組み、技のレベルを高める (1) お互いの技を見合い、それぞれのめあてにそった助言をしながら練習する。 <ul style="list-style-type: none"> ・班内でお互いの技を見合い、技能が上達するポイントを助言し合う。 ・リーダーが中心となって話し合いをまとめ、練習に取り組む。 (2) 自分の身のこなしに足りないポイントを克服できるよう工夫して練習する。 <ul style="list-style-type: none"> ・できていない体の使い方を身に付けるために、必要なポイントを教え合い、それにあった場で練習に取り組む。 ・技能を習得している児童は、友だちの補助をしながら、体の使い方が分かるように手助けをする。 (3) 自分の演技をビデオの遅延再生映像で見て、自分の身のこなしを確認する。 <ul style="list-style-type: none"> ・めあてを持って練習したことが、実際の身のこなしに現れているかどうかをビデオの遅延再生映像を見ながら確かめる。 (4) お互いの技をデジタルカメラで撮影し、本時のまとめの演技を記録する。 <ul style="list-style-type: none"> ・デジタルカメラの動画撮影機能を使って、お互いの技を撮影し合う。 	<ul style="list-style-type: none"> ・できている所を認め、めあてにそった助言をしながら教え合うよう指導する。 ・それぞれの技能に合った場で練習したり、教え合ったりして安全に留意して練習するよう指導する。 《評価基準》(伝え合う力) <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> A : つまづきや課題を相手に分かりやすく説明したり、助言したりできる。 B : 友だちのつまづきに気付くことができる。 C : 友だちのつまづきに気付くことができない。 </div> <ul style="list-style-type: none"> ・児童のつまづきに応じた練習の場で助言したり、補助したりする。 ・ビデオの遅延再生映像を見ながら、よくなったところを褒めたり、それぞれの児童のつまづきにあった助言をしたりする。 《評価基準》(思考・判断) <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> A : 場の工夫や、技のポイントを意識しながら効果的な練習ができ、技のレベルの向上が見られる。 B : 技のポイントや自分の課題を意識して練習できている。 C : 自分の課題を意識して練習できていない。 </div> <ul style="list-style-type: none"> ・前時までに撮影した動画と比較するために、必ずこれまでと同じ場所で撮影するよう注意を促す。 	<ul style="list-style-type: none"> ・デジタルビデオ ・プロジェクター ・DVD再生機 ・スクリーン ・デジタルカメラ ・ノートパソコン
ま と め る	(5) 本時の授業のふり返しをする。 <ul style="list-style-type: none"> ・できるようになったことや気付いたことをワークシートに書く。 ・班ごとに、自分のめあてが達成できていたかどうか振り返る。 ・本時の授業をふり返し、次時のめあてを持つ。 	<ul style="list-style-type: none"> ・自分のめあてに合った視点でふり返るよう指示する。 ・できるようになった理由や、練習の仕方を考えて書くよう指示する。 ・お互いを認め合う、肯定的な話し合いになるよう助言する。 ・本時をふり返し、自分に合った次時のめあてにするよう指示する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ワークシート

5. 学習の場の設定

